

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

斜面

2024.6.15

千曲川の水は新潟で信濃川となって日本海へ注ぐ。河口の新潟市を大地震が襲ったのは1964年のあす、6月

16日午後1時過ぎだった。揺れは東北や中部地方などに及び、長野地方気象台の当時の記録によると県北部は震度4だった◆新潟では石油タンクの火災が起き、黒い煙がもうもうと上がった。油が流れ出て、火は街に燃え移る。大きな橋が落ち、津波がやって来た。川のような道を泣きながら逃げる女子生徒。バケツに口を付けて水を飲む少女◆発生後間もない時期に地元紙の新潟日報が発刊した「新潟地震の記録 自然との半月の戦い」が写真と記事で生々しく被害を伝えている。この地震は液化化現象を世に知らしめたことでも知られる。至る所で地面がゆがみ、地割れが起き、水が噴き出した。4階建ての県営アパート群は傾き天を仰ぐように倒れた◆震源から遠い山形の埋め立て地にあった中学校では、校庭の地割れに生徒が落ちて亡くなり、新潟でも水が噴出した地割れの中で女性が死亡したという〓若松加寿江著「そこで液化化が起きる理由」。液化化した地盤は底なし沼のようだと同著で知った◆構造物をめちやめちやにして、人命を奪う液化化。東日本大震災などでも発生した。能登半島地震では新潟市で60年前とほぼ同じ地域で起き、多くの建物が壊れた。内陸の信州でも地質や地下水位によつては危険がある。地面は硬いという思い込みを一瞬で揺るがす地震は、何度でも来る。

斜面

2024.6.17

三十数年前、知床半島の番屋でお世話になった。漁師が寝泊まりする海の出作り小屋だ。時化れば波に洗われる

小屋周りの石垣を積み直すかわりに、目の前で捕れたマスのみそ焼きやイクラのぶっかけ飯を、山ほど食べさせてもらった◆その半島の岬は「知床旅情」でハマナスの咲くころ―と歌われるが、見に行くとのは容易でない。背丈を超えるハイマツのやぶと格闘して稜線をゆくか、海岸の断崖をへつり、泳いでたどり着くか。半島半ばから先の約20キロには車道も登山道もないからだ◆灯台と避難用の小さな船着き場があるだけの手つかずの自然が残るその岬に、携帯電話の基地局を造るといふ。サッカーグラウンドほどの広さに太陽光パネルを並べ、電源ケーブルを約2キロ埋める。嚴重に自然が守られるべき国立公園、そして世界自然遺産の核心部だといふのに◆2年前の観光船沈没事故を機に不通エリアの解消が急浮上した。当の旅客船には法律上の通信手段として携帯電話は認められていない。ウニ漁などの小型船の安全が理由に持ち出された。もし漁師の皆さんが切実に求めているのなら、一考の余地はある◆解せないのは環境省の対応だ。相当規模の開発なのに自然保護と安全性の両立を真剣に検討した形跡が見当たらない。詳細公表も事業認可後の今年4月。世界遺産登録に尽力した関係者や専門家が憤るのは当然だろう。批判を受けて工事は中断、再調査するという。環境省、大丈夫ですか。

1面のコラム「^{しゃめん}斜面」を読もう

ひらがなを漢字になおして書きましょう。

斜面

2024. 6. 17

さんじゅうすうね
んまえ、知床半島
の番屋でおせわに
なった。りょうし

がねとまりするうみの出作
り小屋だ。時化ればなみに
あらわれるこやまわりのい
しがきをつみなおすかわり
に、めのまえでとれたマス
のみそやきやイクラのぶっ
かけめしを、やまほどたべ
させてもらった◆そのはん
どうのみさきは「知床旅情」
でハマナスのさくころ―と
うたわれるが、みにいくの
はよいでない。せたけを
こえるハイマツのやぶとか
くとうしてりょうせんをゆ
くか、かいがんのだんがい
をへつり、およいでたどり
つくか。ほんとうなかばか
らさきのやく20^キにはしゃ
どうもとざんどうもないか
らだ◆どうだいとひなんよ
うのちいさなふなつきばが
あるだけのつかずのしぜ
んがのこるそのみさきに、
けいたいでんわのきちきよ
くをつくるという。サッカー
グラウンドほどのひろさに
たいようこうパネルをなら
べ、でんげんケーブルをや
く2^キうめる。げんじゅう
にしぜんがまもられるべき

こくりつこうえん、そして
せかいしぜんいさんのかく
しんぶだというのに◆2ね
んまえのかんこうせんちん
ぼつじこをきにふつうエリ
アのかいしょうがきゅうふ
じょうした。とうのりよか
くせんにはほうりつじょう
のつうしんしゅだんとして
けいたいでんわはみとめら
れていない。ウニりょうな
どのがたせんのおんぜん
がりゅうにもちだされた。
もしりょうしのみなさんが
せつじつにもとめているの
なら、いっこうのよちはあ
る◆げせないのはかんきよ
うしょうのたいおうだ。そ
うとうきぼのかいはつなの
にしぜんほごおんぜんせ
いのりょうりつをしんけん
にけんとうしたけいせきが
みあたらない。しょうさい
こうひょうもじぎょうにん
かごのことし4がつ。せか
いいさんとうろくにじんりよ
くしたかんけいしややせん
もんかがいきどおるのほと
うぜんだろう。ひはんをう
けてこうじはちゅうだん、
さいちようさするという。
かんきょうしょう、だいじょ
うぶですか。

コラム「^{しゃめん}斜面」を読んで考えを深めよう

年 組 名前

斜面

2024.6.15

千曲川の水は新潟で信濃川となつて日本海へ注ぐ。河口の新潟市を大地震が襲つたのは1964年のあす、6月

16日午後1時過ぎだった。揺れは東北や中部地方などに及び、長野地方気象台の当時の記録によると県北部は震度4だった◆新潟では石油タンクの火災が起き、黒い煙がもうもうと上がった。油が流れ出て、火は街に燃え移る。大きな橋が落ち、津波がやって来た。川のような道を泣きながら逃げる女子生徒。バケツに口を付けて水を飲む少女◆発生後間もない時期に地元紙の新潟日報が発刊した「新潟地震の記録 自然との半月の戦い」が写真と記事で生々しく被害を伝えている。この地震は液化化現象を世に知らしめたことでも知られる。至る所で地面がゆがみ、地割れが起き、水が噴き出した。4階建ての県営アパート群は傾き天を仰ぐように倒れた◆震源から遠い山形の埋め立て地にあった中学校では、校庭の地割れに生徒が落ちて亡くなり、新潟でも水が噴出した地割れの中で女性が死亡したという||若松加寿江著「そこで液化化が起きる理由」。液化化した地盤は底なし沼のようだと同著で知った◆構造物をめっちゃめちゃにして、人命を奪う液化化。東日本大震災などでも発生した。能登半島地震では新潟市で60年前とほぼ同じ地域で起き、多くの建物が壊れた。内陸の信州でも地質や地下水位によつては危険がある。地面は硬いという思い込みを一瞬で揺るがす地震は、何度でも来る。

① 液化現象を世に知らしめたことでも知られる大地震は、いつ起きましたか。また、液化化によつて地面は、どうなりましたか。

いつー
地面ー

② コラム「斜面」の筆者は、擬人法を用いて、液化化を何と表現していますか。一文で抜き出しましょう。

（空欄）

③ コラム「斜面」を読んで、あなたはどうか考えますか。200字程度で書きましょう。

（空欄）

コラム「斜面」を読んで考えを深めよう

斜面

2024.6.15

千曲川の水は新潟で信濃川となって日本海へ注ぐ。河口の新潟市を大地震が襲ったのは1964年のあす、6月

16日午後1時過ぎだった。揺れは東北や中部地方などに及び、長野地方気象台の当時の記録によると県北部は震度4だった◆新潟では石油タンクの火災が起き、黒い煙がもうもうと上がった。油が流れ出て、火は街に燃え移る。大きな橋が落ち、津波がやって来た。川のような道を泣きながら逃げる女子生徒。バケツに口を付けて水を飲む少女◆発生後間もない時期に地元紙の新潟日報が発刊した「新潟地震の記録 自然との半月の戦い」が写真と記事で生々しく被害を伝えている。この地震は液化化現象を世に知らしめたことでも知られる。至る所で地面がゆがみ、地割れが起き、水が噴き出した。4階建ての県営アパート群は傾き天を仰ぐように倒れた◆震源から遠い山形の埋め立て地にあった中学校では、校庭の地割れに生徒が落ちて亡くなり、新潟でも水が噴出した地割れの中で女性が死亡したという||若松加寿江著「そこで液化化が起きる理由」。液化化した地盤は底なし沼のようだと同著で知った◆構造物をめっちゃめっちゃにして、人命を奪う液化化。東日本大地震などでも発生した。能登半島地震では新潟市で60年前とほぼ同じ地域で起き、多くの建物が壊れた。内陸の信州でも地質や地下水位によつては危険がある。地面は硬いという思い込みを一瞬で揺るがす地震は、何度でも来る。

① コラム「斜面」を読んで、筆者が言いたいことを簡潔に書きましよう。

② 【意見提示】 「斜面」の内容に対するあなたの意見を書きましよう。

③ 【展開】 あなたの意見の根拠を三つ書きましよう。

()

()

()

伝えたい順番

